

新入学の児童へ 交通安全グッズを贈呈

4月10日、佐野ロータリークラブから、市内の小学校に入学する新1年生に交通安全のグッズが贈られました。



贈られたグッズは、交通安全を促す言葉が入ったハンカチ、定規、下敷きの3点セットで、合計1,100セットが市の教育委員会に寄贈されました。

吾妻小学校で行われた寄贈式では、23人の新入生に同会の会長ら4人の役員から児童一人ひとりに交通安全グッズが手渡されました。



受け取った児童たちは、下敷きに書かれた信号機を渡る際のルールなどを見ながら、交通マナーを学びました。

新入生へ防犯広報を実施



佐野市防犯協会と佐野警察署は、4月10日の城北小学校の入学式に合わせ、新入学する児童・保護者を対象に、防犯広報を実施しました。防犯広報では、お子さんが被害に遭わないよう、日々の登下校や生活の中での「ひとりで歩かない」「何かあったら大声で助けを呼ぶ」「何かあったら大人に必ず話す」といった注意点を話しました。

また、この日は菊川町会防犯パトロール隊の皆さんも参加。今後のパトロールのために、新入生や保護者の皆さんと顔合わせを行いました。

市内でも「声掛け事案」などが発生しています。子どもたちが被害に遭わないよう、地域で守っていきましょう。



Town Topics まちの話題

佐野市立図書館が リニューアルオープンしました

この4月から指定管理者(大高商事・藤井産業・図書館流通センター共同体)に管理が移行した佐野市立図書館が4月2日にリニューアルオープンしました。

この日は佐野ブランドキャラクターさのまるも、図書館に訪れた子どもたちを出迎えるなどお手伝い。春休み中だった子どもたちは、さのまると一緒に本を選んでいました。

4月から佐野図書館は午後7時まで(田沼・葛生図書館は午後6時まで)開館しているほか、図書資料や視聴覚資料の貸し出し可能冊数・点数が増えるなど、より便利になりました。ぜひご利用ください。

あづま保育園が開園しました



3月27日、あづま保育園の竣工式が行われました。この日は市関係者や工事関係者、地元の方々と、村上保育園の4歳児、5歳児とその家族など、約90人の方が参加し保育園の完成をお祝いしました。

竣工式のあとは、園児たちがよさこいを披露。新しい遊戯室で元気いっぱいに踊りました。

あづま保育園はゆとりのある保育空間を確保し、また現場の保育士の意見を取り入れ、いろいろな工夫が施され完成。この4月に開園し、0歳から5歳児までの76人が登園しています。



田中正造記念演劇 「天地と共に～田中正造を生きる～」



制作発表を行った谷さん(右)
水樹さん(右中)、岡部市長、
河田さん(左)

4月2日、田中正造翁没後百年顕彰事業のイベントとして10月に上演する記念演劇の台本が完成し、脚本を担当する水樹涼子さん、演出を担当する河田園子さん、出演者の谷操さんが制作発表を行いました。

この演劇は正造の生き方を正造の妻・カツの視点で史実に基づいて描いたフィクションで、水樹さんは「悲劇的な内容になりがちな正造の生涯を、なるべく楽しんでみてもらえよう工夫した」と説明し、河田さんや谷さんはそれぞれ「生の感動やエネルギーを与えられる舞台を作りたい」「市民の皆さんと楽しく意義のある芝居を作りたい」と抱負を話しました。

演劇は市民劇団「さの演劇塾」を中心に行い、出演者を公募していますので、興味をお持ちの方は、下記までお問い合わせください(応募締切5月10日)。

【問合せ】 田中正造翁没後百年顕彰事業推進室

☎(22)8832・<http://www.city.sano.lg.jp/shozo-ou>

野上小学校の閉校と 新生三好小学校の開校



3月23日、新年度から三好小学校と統合する野上小学校の閉校式が行われ、児童22人を始め教職員、保護者、地区住民ら約200人が思い出の詰まった学び舎に別れを告げました。

野上小は昭和59年に作原小学校と長谷場小学校が統合して開校し、以来29年、438人の卒業生を送り出しました。

そして新年度になった4月8日、野上・三好の両小学校が統合して誕生した「新生三好小学校」の開校式が行われました。開校式には児童や関係者らが出席し、新たな学校のスタートを祝いました。

6年生の平琴葉さんは児童代表のあいさつで、「20人の新しい仲間を迎え、大変うれしく思います。これから、みんなで笑顔あふれる素晴らしい学校をつくっていきます」と力強く誓いました。



雑草以外に低木・ささ竹・いばらなどが混じり、獣しか歩けないようなやぶ(茂み)があります。このような草木の生い茂った状態を、ボラ・ボラッカ・ボサッカなどといいます。

「あの畑は、持ち主がカマネ(手入れしない)もんだから、ボラッカナンチャッテ(やぶになっちゃい、今じゃー(では)、畑の面影もネーな」

草木やささ竹が雑然と生い茂っているの、歩いていくことができないような山を、ボラ山といひます。髪の毛が長く伸びて乱れているようすをぼさぼさ(擬態語)といいます、この「ぼさ」が方言ボサ・ボラの語源となりました。

ボラやボサについている「力」は、茂みのようすや場所を表す語です。

(市民記者 森下喜一)

佐野市 ばんざい

雑草が深く生い茂っている所
をクサバッコという

雑草がむらがつて生えている所を、共通語では草むらといいます、方言ではクサバッコとかクサボッコといいます。

「みんながクサバッコで何をサガネッコト(探し回ること)してるんかと思ったら、打ったボールがその中に飛び込んで、メッカン(見つか)なくナツチャッタンだつて？」

草が深く茂っていることを草深(くさふか)といいます。これがのちにクサブツカ、さらに変化してクサバッコとか、クサボッコというようになりました。これらの方言は今でも多くの人に使われています。